

十月十九日（木）三原市立系崎小学校 特別支援（自・情）たんぼぼ
 一年「つかみ取りをした数を計算しよう」第一時
 五年「直角三角形の面積の求め方を考えよう」第一時

授業構成図

本時のねらい
 一年 十のまとまりをもとにして十進位取り法を理解することができる。
 五年 直角三角形の面積の求め方を考えることができる。
 ☆キャリアの視点のねらい
 学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。（課題発見・解決力）

めざす子どもの姿
 一年 S 十のまとまりをもとにして大きな数を数えたり、大きな数を見て、必要な数だけ具体物を並べることができた。
 A 十のまとまりをもとにして大きな数を数えることができた。
 五年 S 三角形の面積の求め方を考えて、説明することができた。
 A 三角形の面積の求め方を考えることができた。

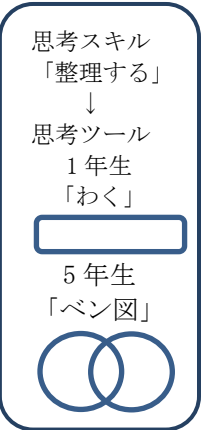
振り返り場面
 Aだと判断した児童の発言
 一年「十のまとまりで数を数えたのでAです。」
 五年「直角三角形の面積は長方形の半分だと分かったのでAです。」
 Sになるためには
 一年「色々な大きな数を十のまとまりで数えることができたのでSです。」
 五年「直角三角形の面積が長方形のどんな半分なのか説明できたのでSです。」

見通しや実行方法を発想する場面

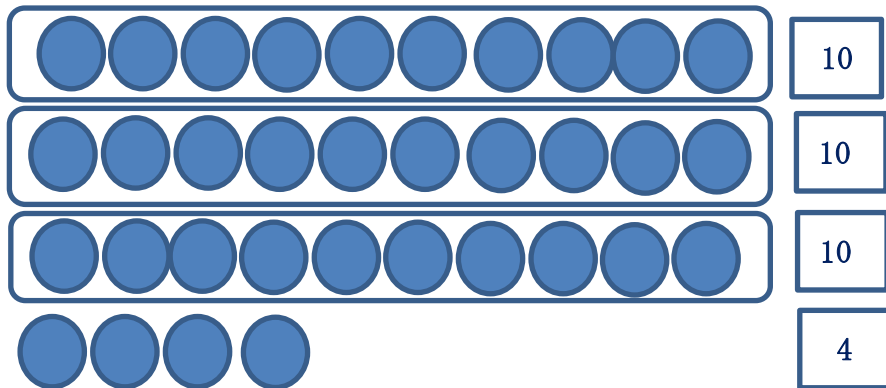
一年
 ⑤もつと多いスパーボールを数える。
 T 三回でもつとたくさんつかんでみよう。
 T 何個かな。「数え方ボード」を使ってみよう。（思考ルール・枠）
 C 十が三つとバラが五つで、三十五。
 五年
 ⑥直角三角形の面積を長方形の面積と比べて説明しよう。☆
 T この三角形は直角三角形と言います。元の長方形はどの直角三角形と合わせる？と出来るでしょうか。この中から選んでみよう。
 C（一つ選んで）この三角形です。
 T どうしてこの直角三角形だと思いたか。
 C 同じ形だからです。
 T どうして同じだと分かりましたか。
 C 重なるからです。
 T そうですね。では、別の直角三角形で確かめてみよう。この直角三角形はどうですか。
 一年
 ⑦更にとくさんのスパーボールを十の塊とバラで数える。☆
 T このスパーボール全部数えよう。
 C いっぱいあるなあ。
 T 数えられるかな。
 C 数えられる時には、「数え方ボード」に並べて数えさせる。
 T 数えられなかったらこの「数え方ボード」に並べて数えてみよう。（思考ルール・枠）
 C 並べたら簡単だった。
 T 十個できたとき、十の玉と交換しよう。
 C 十が九つで、バラが九つ、みんなで九十九個。
 T 10個で大きな数を数えてみよう。
 五年
 ⑧別の直角三角形で面積の広さを説明しよう。☆
 T この直角三角形の面積と元の長方形の面積を比べて説明してみよう。（思考ルール・枠）
 C この直角三角形の面積は、長方形の面積のちょうど半分になっています。
 ⑦ふり返しをする。
 ※互いに説明し合えるようにする。

課題を見い出す場面

一年
 ①スパーボールの数を予想して数える。
 T スパーボールを片手でいくつつかめるかな？
 C 十個くらい、やつぱり二十個。
 T つかんでこの入れ物に移して一緒に数えよう。
 C 個だったよ。
 T 今度は三回でいくつつかめるかな。
 C 〇個つかめると思う。
 T 数えてみよう。
 T 今日、大きな数を簡単に数えられるようにしてみよう。
 五年
 ②上から見た時の長方形のいけすの魚のわけ方を考える。
 T 長方形のいけすを半分に切ってみよう。
 C どうすれば半分にできるかわかりません。
 T 色々切って試して考えよう。
 C 長方形を縦や横に色々切ってみる。
 ③学習課題を立てる。
 一年 大きな数を工夫して数えよう。
 五年 この三角形の面積の求め方を考えよう。
 ④ルーブリックの設定をする。
 一年 S 十がいくつという数え方で大きな数を数えたり、色々な大きな数を数えたりすることができよう。
 A 十がいくつという数え方で大きな数を数えることができる。
 五年 S 三角形の面積の求め方を考えて、説明することができる。
 A 三角形の面積の求め方を考えることができる。
 ・対象と既存の知識との「ズレ」を認識できないと思ったことを、次への意欲へとつなげる。



思考ツール 1年「わく」

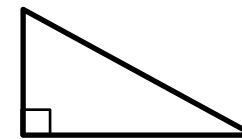


10 が3つ，バラが4つで34

5年「ベン図」



長方形



直角三角形

